

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	習志野市における公共下水道整備												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	習志野市												
計画の目標	公共下水道の整備を推進することで、都市の健全な発達に寄与し公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,311	A	1,311	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	下水道処理人口普及率の向上 下水道処理人口普及率 計画区域内における 下水道処理人口(人) / 計画区域内人口(人)	94%	95%	97%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
習志野市社会資本総合整備計画事後評価実施マニュアルに基づき、事後評価を実施。	
公表の方法	
事後評価書（原案）について、ホームページ及び下水道課窓口で公表、意見聴取後に事後評価書として取りまとめを実施。	
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	交付対象事業とあわせて、市単独事業により未普及解消（下水道管の整備）事業を進めたことにより、下水道普及率を95.6%まで向上させることができた。 しかしながら、合流区域の未普及解消を進めるにあたり、広域的な対策として大規模な放流幹線の整備を優先したことにより、支線・枝線の整備を先送りしたことから、最終目標値を下回る値となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

